



認め合い ともに伸びよう

鴨島東中学校 第1学年便り 令和6年6月25日発行



一人一人の頑張りがいっぱいのスタート

5月30日(木)・31日(金)は、「見つけよう友達のいいところ、発揮しよう自分のいいところ」がテーマである宿泊学習がありました。子どもたちは、時間やルールを守り、分からないことがあればしおりで確認し、友達と仲良く、楽しく2日間を過ごしました。誰からも誉められる2日間にする事ができました。



検索 新 鴨島東中HP

6月には人権学習にさらに力を入れました。人権学習講演会、学級人権集会、学年人権集会、全校人権意見発表会で、一人一人が意見や思いを伝え、生活をふり返り、自分の心と向き合うことができました。これまでの自分をふり返り、成長しつつある今の自分を感じることができた子たちもたくさんいました。

絆を深め、大成功の宿泊学習

5月30日(木) 31日(金)、国立淡路青少年自然の家で宿泊学習を行いました。子どもたちの素直さや一人一人の頑張りが、そしてみんなで協力することを実践した素晴らしい2日間になりました。

○この宿泊学習を通して、絆と思いやりを学んだ。心に残ったことが3つある。1つめはアドベンチャーラリーだ。仲間と意見を出し合い協力してミッション「キーパンチ」「パイプライン」「島わたり」を解いた。私は最後のミッションで怪我をしてできなかったとき、みんなが心配してくれて、とても思いやりがあると思った。2つめは、キャンドルのつどいだ。自律、創造、親和、協力、勇気、平和の6つの火を営火長から授かった。第2部の交歓のつどいでも、みんなと絆を深めることができた。これからも友達を大切にしていきたい。3つめは食事だ。毎日栄養を考えて作ってくれていて、健康的でとてもおいしかった。特においしかったのは醤油ラーメン、イワシの青のりフライ、フライドポテト、マカロニサラダ、ブロッコリーのおかか和えだ。2日間、仲間への思いやりと信頼感が大切だと感じた。そして、1年生は挨拶ができて、明るくてやさしい子たちだと思った。



人権講演会「差別は一人一人の心の中にある」

6月3日(月)阿部千明さんから「人間として生きるには人を人として大切に」というお話を伺いました。

○人権講演会と聞いて、僕はまた重い話だろうから嫌だなと思っていた。でも今日は違った。人権書道は楽しかった。みんなも阿部先生も楽しそうだった。紙芝居も分かりやすくて、阿部先生が14年間も人権指導員を続けた理由が分かった気がした。僕が一番心に残ったのは「差別は一人一人の心の中にある」という言葉だ。言われてみれば、差別したことのない人はいないかもしれない。そして、阿部先生は差別の心を抑えることができるとおっしゃった。その方法は「鍛える」。人と話して自分と向き合うことだ。阿部先生のお父さんの話も心に残った。僕も阿部先生のように人権に関することに携わりたい。

学級・学年・全校人権意見発表会

6月13日(木)学級人権集会、17日(月)学年人権集会、19日(水)全校人権意見発表会が行われました。1年生は「わらわれたっていいのです」の学習で「仲間とは。やさしさとは。」について考え、自分も友達も大切にするために、学校生活や自分自身の成長について語り合いました。

○1年1組片岡優乃さんの作文発表を聞いて、みんなの良いところを見つけ、自分の良いところを発揮していくことは大事だということに共感した。私も気が合わない友達に苦手意識をもって、わざと避けたこともあったので、これからはその人の良いところを見つけて仲良くしたい。○僕は1年2組武岡美玖さんの作文発表を聞いて、美玖さんは自分がよかったらいいと考えるのではなく、困っている友達を助ける協力的な人だと思った。宿泊学習の「砂の造形」で友達を放っておかず、その子ができることを考えて頼んで、班員全員で作り上げることを楽しんでいたので。○2年1組市ノ瀬圭汰さんの意見が心に残った。「決めつけは差別と一緒に。」と言っていた。まさに「男だから。女だから。障がいがあるから。」などで決めつけるのはいじめにつながる。私も相手を決めつけてないかふり返ろうと思う。

＜保護者のみなさまへ＞ 早くも1学期最後の月になります。子どもたちは1学期、授業や部活動、学校行事と一緒に懸命取り組んできました。素直で真面目なその姿は、とても素晴らしく、目標に向かって友達と力を合わせる事ができ、これからも成長すると期待しています。7月夏休みに入ってすぐ、保護者の方、子どもたちと三者面談を行い、1学期の頑張りが等についてお話させていただきたいと思います。